

平成 25 年度川崎市化学物質環境実態調査結果

市では、有害性情報や PRTR *データ等を考慮して選定した未規制の化学物質について、市内の大気、公共用水域（水質、底質）を対象に環境調査を実施しています。平成 25 年度の調査物質及び調査結果は次のとおりです。この結果をもとに環境リスク評価を実施するなど、化学物質対策の推進に努めてまいります。

* PRTR（化学物質排出移動量届出制度）：有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所外に運び出されたかというデータを把握、集計し、公表する仕組み

物質名	大気 (3または4地点) ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	河川（4地点）		海域（3地点）		主な用途等
		水質 ($\mu\text{g}/\text{L}$)	水質 ($\mu\text{g}/\text{L}$)	水質 ($\mu\text{g}/\text{L}$)	底質 ($\mu\text{g}/\text{kg-dry}$)	
キシレン	1.0～11	-	-	-	-	合成原料、溶剤、石油成分
ノルマル-ヘキサン	0.41～6.4	-	-	-	-	石油成分、溶剤
ナフタレン	0.037～1.1	-	-	-	-	合成樹脂等の原料、繊維防虫剤
酸化プロピレン	0.011～0.43	-	-	-	-	合成樹脂等の原料
1,2-ジクロロプロパン	ND	-	-	-	-	合成原料、金属洗浄の溶剤
1,2,4-トリメチルベンゼン	1.0～2.9	ND	ND	-	-	溶剤、染料や顔料の原料、ガソリンの成分
アクロレイン	0.036～1.0	ND	ND	-	-	医薬品等の原料、繊維処理剤、車の排気ガス
ヒドロキノン	-	0.016～0.037	0.0021～0.0072	-	-	染料等の原料
ニトリロ三酢酸	-	0.27～6.2	-	-	-	キレート剤
プロモジクロロメタン	-	0.027～0.067	ND～0.038	ND	-	塩素消毒による副生成物
塩素酸	-	0.09～0.12	0.08～0.10	-	-	除草剤、酸化剤
過塩素酸	-	ND	ND	-	-	分析化学用試薬、有機合成用触媒
エチレンジアミン四酢酸	-	4.0～82	-	-	-	キレート剤、分析用試薬、化粧品添加物
ピリジン	-	ND～0.15	0.10～0.27	ND	-	溶剤、抗菌剤原料

表中の数字は最小値～最大値を示しています。ND：検出下限値*未満 -：調査していない項目
 ※検出下限値：各分析方法で調査対象物質を分析したとき、安定した精度で検出できる最低濃度
 詳しくは、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000059487.html>

問い合わせ：環境局企画指導課化学物質担当

TEL 200-2533 FAX 200-3922

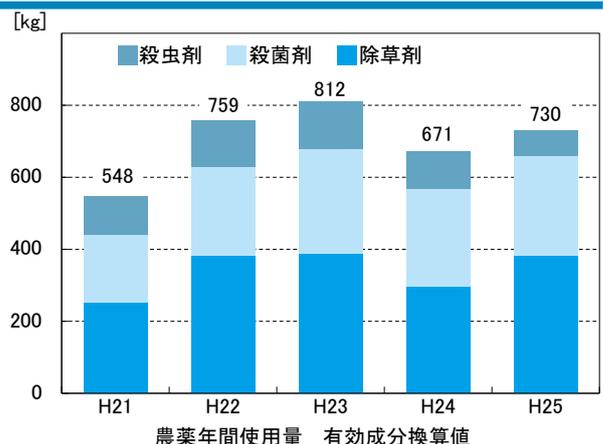
川崎市内のゴルフ場における農薬使用状況調査結果

市では、市内ゴルフ場における農薬の使用状況の実態を把握するため、5箇所のゴルフ場を対象に、農薬使用状況調査を実施しています。

平成 25 年（1～12月）の農薬使用量は、有効成分換算値で 730 kg であり、前年度に比べ 9% 増加しました。なお、農薬の使用量や種類については、雑草や病気の種類によって増減します。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-1-3-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>



問い合わせ：環境局企画指導課化学物質担当

TEL 200-2533 FAX 200-3922